

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	新製品開発等の支援	<b>施策No</b>	01-06	<b>部課名</b>	産業経済部経営支援課		
				<b>課長名</b>	石原久	<b>内線</b> 455	
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化					
	<b>政策</b>	活力ある地域産業づくり					
<b>目的</b>	産業を取り巻く環境が激変するなか、最新の技術を活用し、消費者ニーズにあった付加価値の高いモノづくりが求められている。区内企業の新製品や新技術の開発を支援し、事業革新を促進することにより区内産業の活性化を図る。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)		
	①	新製品・新技術助成件数	2	3	6	10	
	②	産業財産権助成件数	7	6	9	15	
	③						
	④						
⑤							
<b>現状と課題</b>	新製品や新技術の開発を促進するため、企業の多様な研究テーマに対応できるよう、産学官連携を一層図る必要がある。						
<b>今後の方向性</b>	新製品や新技術の開発の重要性を踏まえ、引き続き補助事業を行うとともに、「荒川区モノづくりクラスター（MACC）プロジェクト」を核とする産学交流、企業間交流を促進していく。						

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	区内企業の新製品や新技術の開発を支援し、事業革新を促進することは、区内産業の活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高いと考える。今後は、荒川版クラスター形成に向けたMACCプロジェクトとの連携を図っていく必要がある。

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
経営革新等支援事業（新製品開発支援事業）	04-02-12	4,700	2,123	A	新製品や新技術の開発に取り組む区内企業を支援することは、区内産業活性化のためには極めて重要。
異業種交流活動支援事業	04-02-15	0	0	B	区内企業における新製品や新技術の開発等の端緒となる事業であり重要。クラスター形成に向けたMACCプロジェクトとの連携・調整を検討する必要あり。
4区合同産業活性化プロジェクト事業	04-02-19	—	1,263	B	当該事業は19年度までの時限事業であるが、区を超えた企業間交流による新製品や新技術の開発等の端緒となるこのような取り組みは重要。クラスター形成に向けたMACCプロジェクトとの連携を検討する必要あり。
産学官連携交流事業	04-02-24	—	—	D	MACCプロジェクトへの統合を検討。
合 計		4,700	3,386		